令和9年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年11月13日

上場会社名　株式会社日本一ソフトウェア　上場取引所　東
コード番号　3851　ＵＲＬ　https://www.nippon1.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）猿橋健蔵
問合せ先責任者　（役職名）取締役　（氏名）平岡三知　ＴＥＬ　058-371-7275

半期報告書提出予定日　令和8年11月13日
配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．令和9年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和8年4月1日～令和8年9月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和9年3月期中間期	3,227	159.4	698	－	763	－	639	－
令和8年3月期中間期	1,244	△49.2	△322	－	△189	－	△224	－

（注）包括利益　令和9年3月期中間期　530百万円（－%）　令和8年3月期中間期　△211百万円（－%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
令和9年3月期中間期	126.45	126.00
令和8年3月期中間期	△44.39	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和9年3月期中間期	11,235	8,460	74.1
令和8年3月期	11,267	7,945	69.4

（参考）自己資本　令和9年3月期中間期　8,329百万円　令和8年3月期　7,823百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和8年3月期	－	0.00	－	5.00	5.00
令和9年3月期	－	0.00			
令和9年3月期（予想）			－	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．令和9年3月期の連結業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,411	50.0	715	－	906	－	718	－	142円05銭

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4)中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	令和9年3月期中間期	5,151,100株	令和8年3月期	5,151,100株
②　期末自己株式数	令和9年3月期中間期	90,856株	令和8年3月期	90,856株
③　期中平均株式数（中間期）	令和9年3月期中間期	5,060,244株	令和8年3月期中間期	5,060,244株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）キャッシュ・フローの状況 …… 3
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や政策効果により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続による個人消費の抑制、米国経済の動向、中東情勢や自然災害の影響、主要国の金融政策や金利動向などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属するゲーム業界では、eスポーツ市場の発展、モバイルゲーム市場の拡大、デジタル化の進展、クラウドゲームサービスの拡大、VR(仮想現実)及びAR(拡張現実)の技術進化によるゲーム体験の向上、生成AI活用によるゲーム開発の効率化が進み、市場規模は成長し続けております。

このような経営環境の中、当社グループは、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指してまいります。そのために、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組んでまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの配信に加え、国内で発売されたタイトルの北米・欧州・アジア地域に向けたローカライズ及び販売を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営等を行ってまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高3,227,130千円（前年同期比159.4％増）、営業利益698,349千円（前年同期営業損失322,283千円）、経常利益763,453千円（前年同期経常損失189,024千円）、親会社株主に帰属する中間純利益639,876千円（前年同期親会社株主に帰属する中間純損失224,644千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

（エンターテインメント事業）

当中間期内において、パッケージタイトルとして、国内では『ほの暮しの庭』、『GOBBLE』を発売いたしました。

また、当中間期以降に発売を予定しております『みんなでポイっと！プリニーすごろく』等の開発を進めてまいりました。

その他、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの配信や、北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高3,151,248千円（前年同期比166.1％増）、営業利益961,477千円（前年同期営業損失95,537千円）となりました。

（学生寮・その他事業）

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮3件の運営等を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高75,882千円（前年同期比26.8％増）、営業利益64千円（前年同期営業損失8,284千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

当中間連結会計期間末における総資産は11,235,371千円となり、前連結会計年度末に比べ31,633千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ438,099千円の減少）、売掛金の増加（同216,076千円の増加）、仕掛品の減少（同13,469千円の減少）、前払費用の減少（同231,752千円の減少）によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の減少（同34,062千円の減少）、投資有価証券の減少（同37,043千円の減少）、長期預金の増加（同472,050千円の増加）によるものであります。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債は2,774,804千円となり、前連結会計年度末に比べ547,025千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（同32,981千円の減少）、短期借入金の減少（同530,000千円の減少）、未払金の減少（同153,643千円の減少）、未払法人税等の増加（同153,888千円の増加）、契約負債の減少（同63,665千円の減少）、返金負債の増加（同9,433千円の増加）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（同25,681千円の減少）、リース債務の減少（同19,895千円の減少）によるものであります。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産は8,460,566千円となり、前連結会計年度末に比べ515,391千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同614,575千円の増加）、為替換算調整勘定の減少（同81,502千円の減少）、新株予約権の増加（同9,856千円の増加）によるものであります。

（３）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,938,366千円となり、前連結会計年度末に比べ245,359千円の減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は743,862千円（前年同期は305,704千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益763,542千円、減価償却費61,793千円、受取利息及び受取配当金△104,585千円、売上債権の増加額218,565千円、棚卸資産の増加額14,680千円、仕入債務の減少額26,878千円、前払費用の減少額227,059千円、契約負債の減少63,204千円、利息及び配当金の受取額111,318千円、利息の支払額10,515千円、法人税等の支払額13,853千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は347,881千円（前年同期は1,484,266千円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,440,930千円、定期預金の払戻による収入1,120,860千円、有形固定資産の取得による支出15,394千円、投資有価証券の取得による支出327,523千円、投資有価証券の償還による収入320,082千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は601,755千円（前年同期は290,203千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額530,000千円、長期借入金の返済による支出25,837千円、リース債務の返済による支出19,965千円、配当金の支払額25,952千円によるものであります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」（令和8年8月28日）で公表しました業績予想から概ね計画どおりに推移しております。従いまして、業績予想の変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和8年3月31日）	当中間連結会計期間 （令和8年9月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,422,885	5,984,786
売掛金	234,549	450,625
商品及び製品	237,653	262,407
仕掛品	303,243	289,774
前払費用	539,463	307,711
その他	189,898	228,872
流動資産合計	7,927,695	7,524,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,191,338	1,157,276
機械装置及び運搬具（純額）	2,439	1,947
土地	837,407	837,407
建設仮勘定	498	498
その他（純額）	203,144	185,487
有形固定資産合計	2,234,827	2,182,616
無形固定資産	34,302	32,226
投資その他の資産		
投資有価証券	944,226	907,183
長期預金	－	472,050
その他	125,953	117,115
投資その他の資産合計	1,070,180	1,496,348
固定資産合計	3,339,310	3,711,192
資産合計	11,267,005	11,235,371

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和8年3月31日）	当中間連結会計期間 （令和8年9月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	359,072	326,090
短期借入金	545,000	15,000
１年内返済予定の長期借入金	51,753	51,597
リース債務	33,824	34,600
未払金	261,038	107,394
未払法人税等	9,632	163,521
賞与引当金	73,546	74,318
契約負債	98,107	34,441
返金負債	293,615	303,048
その他	179,807	288,079
流動負債合計	1,905,397	1,398,092
固定負債		
長期借入金	1,075,805	1,050,123
リース債務	136,393	116,497
退職給付に係る負債	90,695	99,215
繰延税金負債	113,536	110,875
固定負債合計	1,416,432	1,376,712
負債合計	3,321,830	2,774,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,702	568,702
資本剰余金	558,702	558,702
利益剰余金	5,281,356	5,895,932
自己株式	△56,349	△56,349
株主資本合計	6,352,412	6,966,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,824	△50,362
為替換算調整勘定	1,494,401	1,412,899
その他の包括利益累計額合計	1,471,576	1,362,536
新株予約権	121,185	131,042
純資産合計	7,945,175	8,460,566
負債純資産合計	11,267,005	11,235,371

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和7年4月 1日 至　令和7年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和8年4月 1日 至　令和8年9月30日）
売上高	1,244,232	3,227,130
売上原価	607,154	1,345,967
売上総利益	637,077	1,881,162
販売費及び一般管理費	959,361	1,182,812
営業利益又は営業損失（△）	△322,283	698,349
営業外収益		
受取利息	92,147	104,345
受取配当金	172	240
為替差益	44,881	－
その他	3,694	5,188
営業外収益合計	140,895	109,774
営業外費用		
支払利息	7,633	10,515
為替差損	－	34,068
その他	2	86
営業外費用合計	7,636	44,671
経常利益又は経常損失（△）	△189,024	763,453
特別利益		
新株予約権戻入益	966	89
特別利益合計	966	89
特別損失		
投資有価証券評価損	1,984	－
役員弔慰金	10,000	－
特別損失合計	11,984	－
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△200,041	763,542
法人税等	24,602	123,666
中間純利益又は中間純損失（△）	△224,644	639,876
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△224,644	639,876

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和7年4月 1日 至　令和7年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和8年4月 1日 至　令和8年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△224,644	639,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,325	△27,538
為替換算調整勘定	△17,872	△81,502
その他の包括利益合計	13,452	△109,040
中間包括利益	△211,191	530,836
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△211,191	530,836
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和7年4月 1日 至　令和7年9月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和8年4月 1日 至　令和8年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△200,041	763,542
減価償却費	54,497	61,793
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△19,532	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,655	1,184
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,330	8,519
受取利息及び受取配当金	△92,319	△104,585
支払利息	7,633	10,515
為替差損益（△は益）	5,106	19,175
投資有価証券評価損益（△は益）	1,984	－
売上債権の増減額（△は増加）	261,217	△218,565
棚卸資産の増減額（△は増加）	△198,697	△14,680
仕入債務の増減額（△は減少）	△79,785	△26,878
前渡金の増減額（△は増加）	1,974	△10,217
前払費用の増減額（△は増加）	△201,959	227,059
前受金の増減額（△は減少）	△2,070	△2,121
契約負債の増減額（△は減少）	69,938	△63,204
返金負債の増減額（△は減少）	11,180	14,318
その他	101,057	△8,942
小計	△288,140	656,913
利息及び配当金の受取額	77,321	111,318
利息の支払額	△7,633	△10,515
法人税等の支払額	△87,252	△13,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	△305,704	743,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,052,100	△1,440,930
定期預金の払戻による収入	732,850	1,120,860
有形固定資産の取得による支出	△163,691	△15,394
有形固定資産の売却による収入	570	－
無形固定資産の取得による支出	△1,780	△4,962
投資有価証券の取得による支出	－	△327,523
投資有価証券の償還による収入	－	320,082
その他	△114	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,484,266	△347,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	185,000	△530,000
長期借入れによる収入	154,410	－
長期借入金の返済による支出	△20,929	△25,837
リース債務の返済による支出	△2,961	△19,965
配当金の支払額	△25,315	△25,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	290,203	△601,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,078	△39,584
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,543,846	△245,359
現金及び現金同等物の期首残高	5,195,499	4,183,725
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,651,652	3,938,366

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自令和7年4月1日 至令和7年9月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	エンターテインメント事業	学生寮・その他事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,184,392	59,839	1,244,232	－	1,244,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,184,392	59,839	1,244,232	－	1,244,232
セグメント損失（△）	△95,537	△8,284	△103,822	△218,460	△322,283

（注）１．セグメント損失（△）の調整額△218,460千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自令和8年4月1日 至令和8年9月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	エンターテインメント事業	学生寮・その他事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,151,248	75,882	3,227,130	－	3,227,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,151,248	75,882	3,227,130	－	3,227,130
セグメント利益	961,477	64	961,542	△263,192	698,349

（注）１．セグメント利益の調整額△263,192千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。